

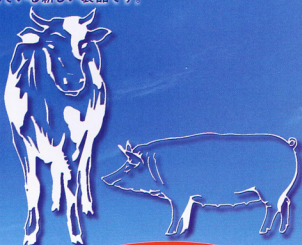
動物用医薬品 牛・豚用イベルメクチン注射剤

エコメクチン®注射液1%

(イベルメクチン)

ECOMECTIN® Injectable solution 1%

「エコメクチン®注射液1%」は、英国のECO Animal Health 社が新しい製剤技術により開発したイベルメクチン1%を含有する注射剤で、疼痛が少なく、粘性が低いため、従来製品に比べて注射し易いという特性が世界各国で認められている新しい製品です。



本製剤の特長

1.

従来品に比べ、刺激性や疼痛が軽減された製剤です。

2.

粘性（動粘度）が改善された結果、注射時の注射筒を押す際の抵抗性が少なくなり従来品に比べ、作業性が優れた製剤です。

3.

ポリエチレン製のバイアルを使用しており、処理を含めて取り扱いが容易です。

エコファーマ株式会社

Drug Information

成分及び分量

本剤1mL中イベルメクチン10mgを含有する。

効能又は効果

牛(搾乳牛及び分娩予定日前28日間の乳用牛を除く。)及び豚の下記の内部寄生虫及び外部寄生虫の駆除

牛：内部寄生虫－オステルタース胃虫、牛捻転胃虫、牛腸結節虫、クーベリア、毛様線虫及び牛肺虫

外部寄生虫－疥癬ダニ(食皮ヒゼンダニ)

豚：内部寄生虫－豚回虫、豚腸結節虫、豚糞線虫、豚鞭虫及び豚肺虫

外部寄生虫－疥癬ダニ(穿孔ヒゼンダニ)、豚ジラミ

用法及び用量

牛(搾乳牛及び分娩予定日前28日間の乳用牛を除く。):

1回体重1kg当たり本剤0.02mL(イベルメクチンとして200 μ g)を皮下注射する。

豚：1回体重1kg当たり本剤0.03mL(イベルメクチンとして300 μ g)を皮下注射する。

使用上の注意

【一般的注意】

- ① 本剤は、定められた用法・用量を遵守して使用すること。
- ② 本剤は、効能・効果において定められた適応症の治療にのみ使用すること。
- ③ 本剤は、獣医師の適切な指導の下で使用すること。
- ④ 本剤は、「使用基準」の定めるところにより使用すること。

注意

本剤は薬事法第83条の2の規定に基づき上記の用法及び用量を含めて使用者が遵守すべき標準が定められた医薬品ですので、使用対象動物【牛(搾乳牛を除く。)、豚】について上記の用法及び用量並びに次の使用禁止期間を遵守して下さい。

牛(搾乳牛を除く。): 食用に供するために、と殺する前40日間
豚 : 食用に供するために、と殺する前35日間

【対象動物に対する注意】

1) 制限事項

- ① 本剤を乳用牛に使用する場合は、泌乳期及び分娩予定日前28日間以内には使用しないこと。
- ② 本剤は、牛及び豚用のみに開発された製剤である。本剤は、犬において致死を含む重篤な副作用を引き起こす恐れがあるので、牛及び豚以外の動物には使用しないこと。

2) 副作用

本剤は、皮下注射後、時折一過性の疼痛又は注射部位の腫脹がみられることがあるが、自然に治癒する。

3) 適応上の注意

- ① 本剤は、筋肉内、静脈内及び腹腔内注射並びに経口投与には使用しないこと。
- ② 本剤は、牛では胃の前後の皮下に、また豚では頸部皮下に注射すること。
- ③ 他の注射剤と同時に投与する時は、注射部位を変えること。
- ④ 体重が16kg以下(投与量が0.5mL以下)の子豚には、特に正確な量を投与するため、0.1mLの目盛りの付いた注射器を用いること。
- ⑤ 本剤投与時には、アルコール消毒又は煮沸消毒した注射器を用い、注射部位を消毒剤で消毒すること。注射部位での感染予防のため清潔な消毒済の注射針を用いること。
- ⑥ 本剤は、シラミの卵を殺さない。シラミの卵の孵化には最大3週間を要するので、投与後に孵化した豚ジラミが認められる場合は本剤の再投与を行うこと。

【取扱上の注意】

イベルメクチンは、土と容易に結合し不活化されるが、遊離したイベルメクチンは魚及びある種の水生生物に影響を与えることがあるので、容器及び残りの薬剤は焼却すること。

【保管上の注意】

- ① 小児の手の届く所に置かないこと。
- ② 食品と区別して保管すること。
- ③ 直射日光を避けること。
- ④ 本剤は温度の影響を受けやすいので、必ず25℃以下の室温で保管すること。
- ⑤ 開封後は、避光して保管し、早く使い切ること。
- ⑥ 本剤の保管は、火気厳禁(第4類・第2石油類・水溶性・危険等級Ⅲ)とすること。

使用期限

個装箱及びラベルに記載

製造元：ECO Animal Health Ltd., (英国)

輸入販売元：エコファーマ株式会社

東京都中央区八丁堀4丁目2番2号